

平成30年2月12日

## 平成29年度学校関係者評価委員会

大阪市立デザイン教育研究所

### 開催日時

平成30年2月12日（研究所展覧会期間）

### 参加委員

大阪商工会議所 西支部事務局長  
大阪市立第二工芸高等学校長  
大阪市立デザイン教育研究所 後援会長

### 学校側

大阪市立デザイン教育研究所 所長  
大阪市立デザイン教育研究所 准教授（司会者）

## 学校関係者評価委員会 次第

### 1 プロジェクト視察

13:10～13:20

補充募集受験希望者と研究所学生（1年生）のチームが和歌山県橋本市周辺の特産「串柿」を拡販するためのパッケージ提案プロジェクトを視察。

13:20～13:40

大阪商工会議所西支部と取り組む「駅前ぶらりある区」プロジェクトの取り組みを視察。

13:40～13:50（所長室へ移動）

### 2 今年度の報告

13:50～14:10

## 教育の全体像を別紙（時間割）より説明

カリキュラム構成は本校の特色であるプロジェクト（プロジェクトベース・チームベースで社会の要求に対応し、デザインで問題解決する）を中心に組み立てる。ベースになる力の養成に注意を払い、その上にチームで取り組める力をつける。

### 新たな試み

丸山小学校○△□プロジェクト（2年）は大阪デザインセンターの主催で小学生にデザイン教育の入門教育を実施するもので、小学一年生にフリーハンド製図から平面構成まで、小学三年生にフリーハンド製図から立体構成までをそれぞれ実施。

現在、結果の分析中で、来年度に関しても実施希望があるため、大阪デザインセンターと予算化のための計画中。【3階に展示】

### 評判のプロジェクト

英国屋銀座ショーウインドデザイン（銀座の紳士服、英国屋銀座ショーウインドデザイン・施工を12月に実施。2月初旬に更新した。英国大使館から使用後の飾りつけに関し移設申し入れがあった。）【2階に展示】

駅前ぶらり歩区 第二期（大阪商工会議所西支部主催のプロジェクト第二期。）  
【2階に展示】

プロジェクトを実行しながら成長を促す  
単位のために参加→自身の成長に繋がらない

## 入学前教育の重点を説明

視察していただいたプロジェクトに代表されるように、ブレインストーミング段階は上手くこなす。

工芸・第二工芸生は終盤の製図・モデル・グラフィック制作に強い傾向にある。一方で、外部の美術系高校の生徒は企画に強い傾向にある。

入学前時点の高校生には読書・スケッチの習慣を身に付け、デザイン負荷に耐えられる力を付けることが本校でのデザイン力向上に繋がると考える。

## 今年度の重点を説明

展覧会でのテーマOMCD ENGAWA 化計画（プロジェクトを単位のために参加するのでは自身の成長に繋がらない。主導的に参加することの重要性を説く。さらに、利害関係者（ステークホルダ）の広がりとともに『全員が主役』の考え方を定着させる目的）をすすめる。

## 3 委員からのご意見

14:10～14:40

企業との連携プロジェクトについて

高校との連携プロジェクト（高校との接続性）について

その他のご意見